

国内コミュニケーションプラン

■1. 状況変化

6月のICANNブエノスアイレス会合後にパブリックコメント期間を設定する計画であったが、韓国語LGR-1案が出てくるのが年末とのKGPの発言を受け、国内を対象としたコミュニケーションプランを立て直す。

■2. コミュニケーションのポイント

ポイント1

きちんと活動していることをコミュニティに感じてもらう
→間延びしてしまわないように(忘れられてしまわないように)、
何らかの活動報告を出し続ける

ポイント2

パブリックコメントは具体的な内容を対象としたもの1回で済ませる
→CJK+IPが合意できることが明確となった日本語LGR案を対象とする

ポイント3

適切なステークホルダーと情報共有・意見交換する

■3. コミュニケーションプラン

3.1 RootLGR関連イベントを契機とした情報発信

(a) 契機

- ・CJK調整委員会 (2015/5, ...)
- ・ICANNでの公開議場でのプレゼンテーションと意見交換 (2015/6, 2015/10)
- ・APrIGFでのパネルセッション (2015/7)
- ・...

(b) 方法

- ・JGPからのトピックスをJGPWebに掲出
- ・事務局(JPNIC、JPRS)のトピックスのWeb掲出とML配信

3.2 コミュニティイベントを契機とした情報発信・意見交換

- ・業界(インターネットガバナンス、知財、...)のイベントでの講演
例: IGCJ、ICANN報告会、Internetweek...
- ・業界誌(インターネットガバナンス、知財、...)への執筆

3.3 その他関連組織等への情報発信・意見交換

(a) 対象

- ・総務省
- ・内閣官房 IT総合戦略室
- ・言語学者(京都大学安岡孝一准教授など)

61:
62: (b) 方法
63:
64: ・ JGPWeb掲出されたトピックスを案内
65: ・ 必要に応じ説明
66:
67: 3.4 ICANNへの定常報告のコミュニティへの共有
68:
69: ・ ICANNへ四半期に一度提出する報告をJGPWebに掲出
70:
71:
72: ■4. パブリックコメント
73:
74: CJK+IPが合意できることが明確となった日本語LGR案を対象とする
75:
76: 時期は、2016年1月以降か？
77: (K-LGR-1の案が出るのが2015年末と言われているため)
78:
79:
80: 以上